

# 健康アドバイス



上田 美子 医師  
(吉備医師会から)

梅雨から夏にかけて高温多湿の時期は、食中毒が発生しやすいです。食中毒とは、有害な物質がついた食べ物を食べることで、高熱、激しい腹痛、嘔吐、下痢などを発症する病気のことで

す。食中毒の患者数が最も多いのはノロウイルスによるもので、冬に多く発生します。カキ、アサリなどの二枚貝に多く、食後1

## 今月のテーマ 食中毒予防

### 生鮮食品の加熱は十分に！

～2日で発症します。嘔吐物や下痢中の少量のウイルスでも人に感染し、家庭や保育園などで伝染します。

食中毒の件数が最も多いのはカンピロバクターによるものです。鶏肉に多く含まれており、不十分な加熱で食べてしまうことが発症につながります。そのほか、生の牛肉などに多く含まれている病原性大腸菌によるものや生卵が汚染されることなどによるサルモネラ菌食中毒があります。過去には病原性大腸菌の一つである腸管出血性大腸菌により、大規模な集団感染が起

り、重症者が多数発生しました。現在も年間約3000人の報告があります。

これらのウイルスや細菌は熱に弱いので、カキや肉などは中心部まで加熱してから食べましょう。焼き肉の際は、焼くときと食べるときで箸を分けましょう。そのほか、こまめに手を洗い、肉や魚の調理に使用したまな板や包丁は熱湯消毒を忘れずに行いましょう。菌を「つけない(手洗い・清潔・洗浄)、増やさない(低温管理・乾燥)、やっつける(加熱・殺菌)」の三原則を徹底し、食中毒を予防しましょう。

問い合わせ 健康医療課健康増進係 (☎ 0866-92-8259)

# 安全・安心

## 総社署からのすすめ

市内では、昨年158件の人身事故が発生しました。その中で、特に多く発生した交差点(交通事故ワースト交差点)は、次の3カ所です。

- 中央一丁目地内の信号交差点(右図①)
- 三須地内の信号交差点(右図②)
- 井手東信号交差点(右図③)

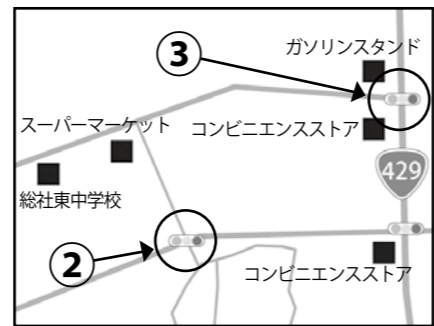
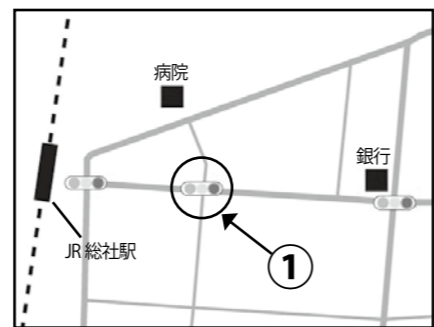
これらの交差点では、出合い頭や追突事故のほか、右左折す

### 交通事故ワースト交差点

る際に歩行者と接触する事故が多数発生しています。ドライバーの皆さんは、次の3つを心掛けましょう。

- ・信号をよく確認する
- ・信号が青色に変わった後、左右の安全確認をしてから発進する
- ・交差点で右左折する際には、安全な速度に減速し、対向車だけではなく歩行者・自転車利用者にも気を付ける

交通事故により命を落とす可能性も考えられます。ドライバー・歩行者・自転車利用者が周囲に注意を払い、お互いを思いやることで、交通事故を防ぎましょう。



監修・問い合わせ 総社警察署 (☎ 0866-94-0110)

## 市民の健康・安全のために

# 市内医療提供体制の充実を目指します

問い合わせ 健康医療課健康増進係 (☎ 0866-92-8259)

1947年から1949年生まれ、いわゆる団塊の世代が75歳以上の後期高齢者になる2025年を見据え、医療需要の高まりが予想される中でも、必要な時に適切な医療が受けられ、住み慣れた地域で安心して過ごせる環境の整備が求められています。

現在、市の医療体制は、市外への救急搬送率が高く(令和2年:73%)、搬送先の市外病院を退院した後の市内医療機関への転院が少ないなど、市外の医療体制への依存度が高い状況となっています。一方で、総社市を含む県南西部医療圏域では、病床数が過多となっており、市内に病院を新設するのは難しい現状です。また、病気の早期発見につながる健(検)診の受診率が低いことも、市の課題となっています。

そこで市では、市内で不足している医療機能を強化するため、市内民間病院の建て替えなどに合

わせて、市が依頼した医療機能の整備に対して財政支援を行うことにより、医療提供体制を充実させていきたいと考えています。

このような中、6月定例市議会において、救急から在宅までをつなぐ医療や健(検)診の受診環境の向上を図ることを目的に、長野病院の移転新築と合わせて実施する、市が依頼した6つの医療機能の整備に係る建設費・医療機器購入費の一部への財政支援として、9億8000万円の補正予算を提出し、可決されました。今後は、専門家などで構成する第三者委員会を設置して、予算の適切な執行に努めます。

また、引き続き、市内に不足する医療機能の整備に向けた病院の建て替えなどに対し必要な財政支援を行うことで、市民の皆さまが安心して生活できる環境の整備を図ります。

## 病院の6つの医療機能を向上！

### 1 二次救急医療機能

市内に救急対応できる病院を増やし、市外の大病院と役割分担のもと、市内で受けるべき患者は市内で対応できる体制を作り、市内搬送率を高めます

### 2 回復期リハビリテーション機能

市外の大病院で退院した後、日常生活ができるまで回復するためのリハビリテーションを市内で受けられる体制を強化します

### 3 地域連携室

救急から在宅に至るまで安心して治療を受けられるよう、入退院の調整や患者に寄り添った相談体制を整備します

### 4 緩和ケア機能

2人に1人はがんになる時代。がんの進行に伴う体や心のつらさを和らげる治療を身近で受けられるように体制を整えます

### 5 災害拠点機能

災害時における医療拠点としての設備・機能を充実させ、市と連携し、地域の安心・安全を目指します

### 6 健診センター機能

さまざまな健(検)診を身近で受けられるようにすることで、より多くの人に健(検)診を受けていただき、病気の早期発見につなげます